

コウホウ ショッキング

Kōhō shocking

Vol.31

kirari



おお うら ゆき
大浦 有貴さん

プロフィール

33歳。上対馬町河内出身。長崎総合科学大学建築学科で住居学を学ぶ。雑貨の店「モノコムサ」に憧れて親会社ファイブフォックスに勤務。キャナルシティ店のオープンにも携わった。帰郷後、実家のそばに手作りアクセサリーと陶器の店「kirari」を2005年にオープン。店名には「人もモノもキラリとした出会いがあるように」との願いが込められている。上対馬町大浦に夫と3歳の息子の3人暮らし。

アクセサリーを作り始めたのは?

対馬に帰ってきてからです。自分でもともとアクセサリーはつけないほうでしたが、友達の結婚式に出席する時につけよう、自分のために作つてみたら楽しくて。お店を始める前から友達や知り合いのためにちょっとよく作つてはいましたが、妹が陶芸をしているので、彼女の作品と一緒にお店をしたらどうかな…と思って。今思つと、何か自分でしたいなと思つて、対馬に帰ってきた気がします、多分(笑)。とにかくディスプレイすることが好きで、会社にいる時もディスプレイばかりしていました。でも会社じゃ自分の好きなようにはできないんですね。自分のものならディスプレイも自由にできるなあと思ったのもお店を始めるきっかけの一つかと思います。

学校で専攻された経験が生きている素敵な店舗ですね。

もどもとあつた倉庫が台風で破損して、建て替える時に一部をお店のためにと両親が準備してくれました。内装も日々手を入れていて、壁を白一色にし

たいとか今後いろいろと計画はありますが、まだ進歩中です。もちろん自分で作業します。頭の中のスイッチがピット入ったら。

お店の噂はいろんな方からうかがっていました。

ありがたいことにほとんど口コミです。私、パソコン使えなくて(笑)。お店に置いてあるパソコンは、お部屋に置いたら可愛いんだろうなあと思って買っちゃいました(笑)。ホームページも作つてないですし、たまに作るチラシも手書き。でもそれもまた『味』かな?と思つたりします。地の利のよくなことは気にしていません。知る人ぞ知る: というようなお店であります。対馬にこんなお店があつたんだあ」と喜んでくださるお声も嬉しいです。

創作意欲が湧く時は?

店にいる時よりも自宅にいる時。そばで息子が遊んでいても、創作スイッチがピッとは普段業が進みます。モノ作りは普段の生活の一部分ですね。あとは流木拾つてきてインテリア用に加工したり、最近はミシンで縫い物をしたりも。洋裁学校出

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いただきこのコーナー。次回は上対馬町千賀子さん夫妻です。お楽しみに。

願い事があるとしたら?

お店はこのままマイペースで続けていけたら嬉しいです。それと、夫はなかなか休みが取れない仕事なので、新婚旅行に行つてないんです。友人のいるオーストラリアか、子どもも楽しめる東京ディズニーランドに行きたいですね。ぜひ夫に休暇をください(笑)。